

# OSK KHJ岡山きびの会

平成 12 年 9 月 20 日 第 3 種郵便物認可(毎月 25 日発行)

平成 27 年 1 月 17 日 OSK 増刊通巻 270 号

<http://kibinokai.ciao.jp> 「メッセージ・21」

第 136 号(平成 27 年 1 月)



## 『KHJ岡山きびの会』のご案内

2014 年度 年会費 正会員 6000 円 賛助会員 3000 円

(お忘れの方はなるべく早くお振込みください)

月例会参加費 正会員 500 円 正会員以外の方 1000 円

郵便振込先 01380-6-77803 KHJ岡山きびの会

※ご入会・ご寄付は随時受け付けております。

連絡先 会長 槌谷 富子 〒702-8002 岡山市南区福成 1-128-4 【電話】090-2094-9589

居場所 岡山市北区表町 1 丁目 4-64 上之町ビル 4 階 (市電・城下電停すぐ、アーケードに隣接)

月・水・土曜：午前 11～午後 4 時、金曜：午後 1 時～6 時 (詳しくは巻末をご覧ください)

## 「KHJ 岡山きびの会」のお願い

不登校・ひきこもりの子どものことで悩んでいる親どうしが情報を交換し、親の気持ちが癒され、元気づけられ、「この子がいてくれて本当に良かった」と心から思えるようになることを目指します。そして本人たちが自分の意思と選択と決定において生き生きとして社会参加できるようになることを支援します。

### <1 月例会のお知らせ>

日 時 平成 27 年 1 月 11 日 (第 2 日曜日) 午後 1:30 時~5 時  
場 所 きらめきプラザ 2 階 ゆうあいセンター 大会議室全室  
岡山市北区南方 2 丁目 13-1 電話: 0 8 6 - 2 3 1 - 0 5 3 2  
内 容 ●演題 発達障害と共に生きる  
講師 岡山県発達障害当事者会 (わ) の会 代表 瑠璃真依子さん(娘さん)  
●演題 ありのままを受け止める  
犬飼 幹子さん (お母さん)  
●ひきこもり相談会 (役員による来談者へのオリエンテーション)  
参加費 正会員 500 円 正会員以外の方 1,000 円

### <2 月例会のお知らせ>

日 時 平成 27 年 2 月 8 日 (第 2 日曜日) 午後 1:30 時~5 時  
場 所 きらめきプラザ 2 階 ゆうあいセンター 大会議室全室  
岡山市北区南方 2 丁目 13-1 電話: 0 8 6 - 2 3 1 - 0 5 3 2  
内 容 ● 演題 KHJ 親の会 ピアサポーター養成研修会の報告  
講師 ひきこもりピアサポーター (家族会連合会) 友野 順二さん  
●ひきこもり相談会 (役員による来談者へのオリエンテーション)  
参加費 正会員 500 円 正会員以外の方 1,000 円

---

### 『ひきこもり大学』の紹介

グローバル・シッパスこうべ 代表 森下 徹さん

今日はお招きいただきましてありがとうございます。「グローバル・シッパスこうべ」の森下と申します。こちらに来させていただくようになったきっかけは、私に津山に友人がいる関係で川島さんとお知り合いになり、「ととろの家」にもお邪魔させていただきました。それから昨年 8 月でしたかこちらの例会にも参加させていただき、主に自分の引きこもり世話人活動について話させていただきました。

それから、受付の席に質問用紙を用意していますので手を上げて質問の苦手な方はぜひ利用して下さい。私は兵庫県姫路市の出身で、いつのまにか 47 歳になってしまいました。現在は明石市に住んでいます。

私は不登校・ひきこもり経験者で、小さいときからクラスメートとはあわないで浮いていた子どもの様に思います。姉の友達とか、先生など年上の人とは良いのですが少しまかせていたのでしょうか。

大学はなんとか卒業しましたが、その後は買い物とかボランティアにはなんとかいけるのですが、ひきこもった状態で、対人恐怖とか潔癖症、それと手の振るえなどがどんどんひどくなってきました。それまでは友人と一緒に生活していたのですが、その友人まで巻き込むようになってこちらに帰ってきました。

それが、2005年のことだと思います。2006年春から「イシス」という居場所に参加するようになり、そこで知り合った仲間と発足当時は任意団体でしたが『グローバル・シッパスこうべ』を立ち上げることになりました。2009年に法人化をしました。いろいろな人から法人化して運営することの大変さを聞きましたが、やってみて確かに大変ではあるのですが、肩書きになり現在の活動・つながりに生きています。

そこで現在行っていることとしては

- グローバル・シッパスこうべの活動
- フリースクールにおける学習支援と進路相談など。
- 訪問支援、主に第3者の立場で話し相手をしています。
- 体験発表（出演や企画）今日のように講演をしたり、講師を紹介したりの企画
- パソコン修理や在宅ワーク（ホームページ・チラシ製作・テープ起こし）講演などのテープ起こしを  
訪問先をお願いして、仕事としてやっていただくと同時に外とのつながりになればと思っています。
- 電話相談員 兵庫県のひきこもり・不登校・いじめの電話相談の事務局の仕事をしています。各先生方のシフト調整とか、先生方の都合がつかない時は相談員をやることもあります。

次にひきこもり大学について、お話をさせていただきますが当事者でもある関東在住の「とらさんの発案」でひきこもっている本人が先生になって、ひきこもっていた経験や知識・知恵を親や家族、関心のある一般の人たちに伝えることによって、周囲の誤解を解き、家族関係の改善に結びつける事が目的です。当事者が先生になることによってネガティブとされていた「空白の履歴」の経験や知識、知恵を価値あるものに変えられる。また、当事者も同じ状況にある人の話を聞きたいと多数参加しています。

2013年授業	7月	東京「ひきこもり大学 準備会」
	8月	東京「ひきこもり大学 オープンキャンパス」
	9月	東京「生きていたいと思うようにないたい学科」 福岡KHJ大会でも
	10月	東京「弱さでつながる学科」

2014年授業	1月	大阪「ひきこもり大学 in 大阪 でんがなーまんがなー」
	3月	兵庫「ひきこもり大学 in 神戸 ひきこもり経済学」
	5月	東京「ひきこもり大学 in 東京キャンパス こもっていいとも?!」
	6月	東京「生きていたいと思うようになりたい学科」
	11月	名古屋「メンタルヘルス学部(デモンストレーション)」khj 大会
	11月	札幌「道産こもり 179 大学」
	12月	東京「自己表現学部 軽音楽科 クリスマスイブ」
	12月	大阪「ひきこもり大学 in 大阪 いきこもり当事者学会」

今までの、一般的な講演会・シンポジウムと言うと支援者や家族・担当行政機関が企画・主催してきました。講師と言うと支援者・識者がおこない、家族や支援者が参加して当事者はと言うとなにか敷居が高かったように思います。

新しい企画「ひきこもり大学」は、企画・講師先生はひきこもり当事者・経験者がおこない家族・支援者が生徒・一般参加者ということで当事者を含め、対話や交流、懇親会などそこが居場所、出会いや交流の場になる可能性を持っているのではと思います。

---

つづきまして、「香川オリーブの会」Hさんからお話を頂きたいと思います。

Hさんは丸亀で僧侶をされております。「全国引きこもり KH親の会」が実施しましたピアサポーター養成研修を修了され、ピアサポーターとしてもご活躍です。

こんにちは、私は1969年名古屋で生まれましたが、父親の仕事の関係で丸亀に引越し地元の進学校に入学しましたがうまくいかず、1浪後名古屋で塾に通いながら私大を目指すことにしました。

そして、その塾で知り合った女性の影響もあり勉強をがんばり偏差値も大きく上がりました。「なんかさあ、今オレ、何でも出来そうな感じがする、何でも上手いきそうな、そんな感じ」私がそう言うとき横を歩いていた彼女が突然立ち止まり「なんかそういうの、私の中にもあるんだけど、すごく怖い気がする」と、少し曇った表情で言いました。

しばらくすると、彼女は自分が抱える不安や悩みを私に訴えるようになるのですが私はそんな彼女に共感がもてなくなっていました。他人の弱さや辛さに共感すると、自分の強さや幸福が破壊されてしまう。

この強いままの自分でないと、大学にも合格できない。そんなことを考えていました。

そして、東京の大学に入学して心理学を学ぶようになりサークルにも入りますが、人の中において気を使ったり、思いやったりすることは、私にとって搾取されていることと同義でした。

卒業後の就職活動に失敗してからは、バイトを転々とする生活を送っていましたが40歳を前にして丸亀に帰ってきます。その時も、自分は将来成功するためにあり今はそれに出逢えていないだけだと思っていましたし、自分がひきこもっていたとは考えてもいませんでした。

そんな時、突然名古屋で付き合っていた彼女の泣いている顔がフラッシュバックしてきて、その時のことを思い返し愕然となりました。自分のやってきたことの残酷さに初めて気づきました。

人は何かしらの「不安」を抱えて生きています。だからこそ他人の「不安」に共感し、思いやりを持って接することが出来るのですが、「終身雇用」が象徴するように、元来、日本では「不安」は「悪」であり、対峙するよりも排除する傾向が強く、私が育った時代・環境でも、「不安」は共感どころか非難の対象でしか無く、「よい大学」に合格することで、「不安」とは無縁な「よい人生」が送れると信じ込まされていました。しかし、排除された「不安」は、外部へと投影され、外からその人を襲います。そうになると、人間関係や様々な問題に対する現実的対処に齟齬を来たし、私の場合、ひきこもりを招きました。

女性精神分析家のメラニークラインは、乳児の心の成長を通じて、人間が本来抱える不安と向き合う心のあり方を「対象関係論」にまてめました。難解な理論ですが、気付かされることも多く、私のひきこもりを理論的に解き明かしています。一部のひきこもりのみなさんにも当てはまることが多いと思いますので、是非役立てていただきたいと思います。

ありがとうございました。

# お知らせ掲示板

## 若者学級で新年会（昼食会）

居場所第4 土曜日 1月24日午後1時30分  
から新年会（昼食会）をします。  
初めての方も、おなじみの方も楽しく  
ワイワイやりましょう。

### 連絡先

槌谷 富子 090-2094-9589

## NPO法人津山・きびの会 市民が作る新しい精神保健とは オルタナティブ協議会勉強会

最近お知り合いになった米田耕さんが津山でこのよ  
うな会を主催することになりました。「津山・きびの会」  
では、この会を応援することにしています。新しい動  
きですので、関心ある方は、ご参加下さい。  
1月27日(火)16:00~21:00 津山市社協・中会  
議室、参加費 1000円です。夜遅くなりますので、  
トトロの家に泊まることもできます。ご希望がありま  
したら川島までお申し出下さい。

トトロの家 (0868-23-0028) の住所  
708-0863 津山市小桁 137-2  
連絡先 川島焔三 (090-7541-5263)

## 第1回 オルタナティブ協議会勉強会 市民が作る新しい精神保健とは

現在の精神保健に疑問を感じて皆様に加え医療  
関係者・教育・福祉の現場の皆様の参加をお願  
いします。

日時 1月27日(火) 午後7時~9時  
場所 津山市総合福祉会館 中会議室  
定員 50名  
参加費 1000円  
連絡先 080-2890-2219(米田)  
090-4628-3605(中川)

## パソコン教室開催中です。

ワード・エクセルなどを、じっくり楽しく学  
びます。

花谷 幸芳さんから、ゆっくり丁寧に指導い  
ただきます。

開催日 毎月第3水曜日  
午後3時~5時まで

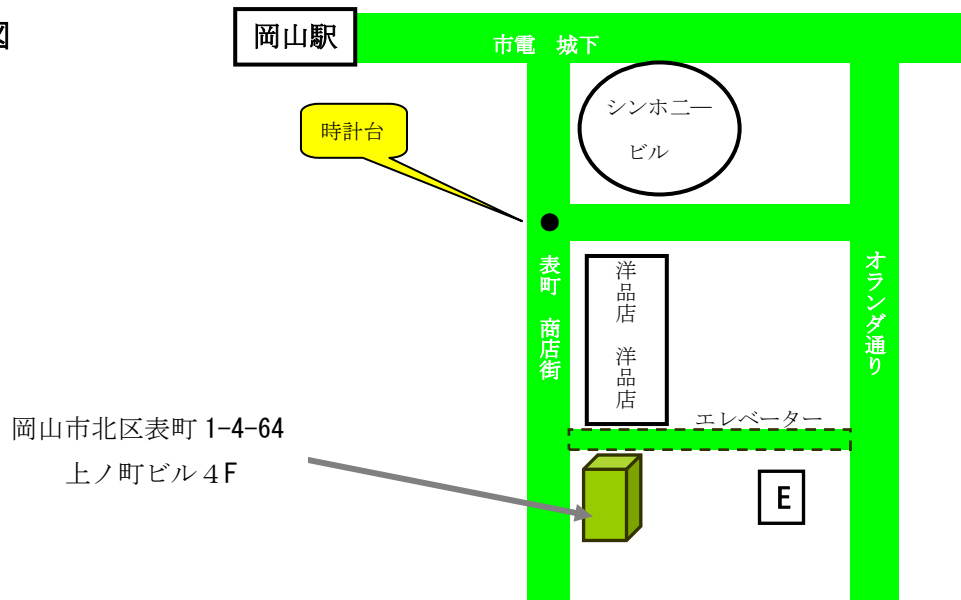
お問い合わせ 花谷 幸芳  
携帯 080-1908-3861

きびの会 居場所・行事カレンダー

1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4 休日	5 居場所	6	7 居場所	8	9 居場所	10 家族教室 居場所
11 定例会	12 居場所	13	14 母親学級 居場所	15	16 役員会 居場所	17 松田先生 居場所
18 休日	19 居場所	20	21 P C 教室 居場所	22	23 居場所	24 若者学級 居場所
25 休日	26 居場所	27	28 母親学級	29	30 居場所	31 居場所

きびの会 居場所 地図



家族教室 (原則)第2土曜日 午後1時半～4時 担当:西紀子さん

松田相談日 (原則)第3土曜日 午前9時～午後6時 担当:松田勝カウンセラー

ご予約:中西 電話 090-9500-9618 または 086-955-2857

料金:会員は1時間3,000円 ※定員8名とさせていただきます

母親学級 (原則)第4水曜日 午後1時半～4時

父親学級 (原則)第1土曜日 午後1時半～4時

若者学級 (原則)第4土曜日 午後1時半～4時

パソコン教室 (原則)第3水曜日 午後3時～5時

お問い合わせ:花谷 電話 080-1908-3861

平成12年9月20日 第3種郵便物認可 (毎月25日発行) 平成27年1月17日発行 OSK 増刊通巻270号  
 発行所 岡山障害者団体定期刊行物協会 702-8025 岡山県岡山市南区内尾 739-1 綾部小百合 (TEL 086-263-7537)  
 無断での掲載、転写は禁じます。(定価100円は会費に含まれています)